

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援では明確に記された指針がなく重度化した場合や終末期のあり方についての利用者・家族との話し合い、施設の取り組みについての職員間の話し合いが十分に行われていない。	利用者・家族へ、重度化した場合や終末期のあり方への問題を提起し、話し合いを個々に行っていき、安心して生活できるようにする。	利用者本人、家族が考える終末期のあり方を一緒になって話し合い、終末期に向けた施設の方針を確立させる。	12ヶ月
2	No.23	思いや意向の把握では、後から知りえた情報の共有ができていない事があった。利用者および家族との話し合いが十分に行われていない。	後から知りえた情報等を、個人の記録およびアセスメントシートに記録を行い、情報の共有を行う。	個人のアセスメントシートに後から知りえた情報を書き込める様に、職員間でも話し合い共有する	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。